令和５年度第１回札幌方面芦別警察署協議会議事概要

１　開催日時
　令和５年７月３日(月)　午後４時０分から午後５時０分までの間

２　開催場所
　札幌方面芦別警察署　会議室

３　出席者
⑴　協議会委員　（出席者７名）
　会　　長　遠藤　均
　委　　員　横浜　博、畠山　優喜、平尾　道代
　　須藤　美紀子、坂田　啓一郎、斉藤　敏幸

⑵　警察署　（出席者４名）
　署　　長　高橋　孝佳
　副 署 長　高橋　賢紀
　刑生課長　水島　典也
　地交課長　土屋　典照

４　協議会次第（要旨）
⑴　会長挨拶
　横浜委員と私は３期目ということで警察署協議会について理解しているつもりである。
　芦別警察署のホームページには過去の警察署協議会の議事録が掲載されており、発言した内容などが書かれている。
　リアルタイムで何が起きているのか、何がトラブルになりつつあるのか、そういった内容のことを警察署の方々と協議することでより良い芦別市を作っていけることが出来ると思っている。
　委員の方々は忌憚のない意見をお願いしたい。
　地域と芦別警察署との問題解決の場所として警察署協議会を活用していきたい。

⑵　署長挨拶
　本年度は委員の改選時期ということで２名の方に再々任、５名の方には新たに就任をお願いした。
　遠藤様が会長職、横浜様が副会長職を受けていただいた。
　平成12年、当時全国で警察官による犯罪や不適切な事案が発生し、更にそれらの隠蔽行為が多発した。
　また、被害者から相談を受けていたストーカー事件について、真摯な対応を怠った結果、被害者を死に至らしめるなど多くの失態があり、国民の皆様からお叱りを受けた。
　開かれた警察組織を改革すべく、警察刷新会議が発足し、同会議の警察刷新に関する緊急提言を受けた。
　その対策の一つが警察署協議会である。

警察署協議会の具体的目的は国民の皆様の意見要望を把握して警察行政に反映させるとともに、批判には謙虚に耳を傾けて、誠実な対応を行うことである。
忌憚のない意見を聞かせていただければと思っている。
任期の２年間よろしくお願いしたい。

⑶　自己紹介

⑷　懲戒処分事案の説明

⑸　自転車シミュレーター・飲酒ゴーグル体験

⑹　飲酒運転防止の取組

7　質疑、応答

⑴　委員発言
普段ロードバイクを運転するが、道路を走る際の速度はどうなっているのか。

⑵　警察回答
自転車は軽車両となり、速度の道路標識に従って安全な速度で走行していただきたい。

⑶　委員発言
自転車シミュレーターで夜間用の飲酒体験ゴーグルを付けると前方の信号が赤なのか青なのか全くわからず正常な運転が出来なかった。

⑷　警察回答
飲酒時は注意力が散漫で前方の確認が難しくなる。
飲酒運転は、やめて欲しい。

8　諮問事項
最近、ネット上でのトラブルや犯罪が目につく。
サイバー犯罪の現状やセキュリティに関する芦別署の取組を教えてもらいたい。

以　　上